

(The Signal Engineer, Vol. 8, No. 1, 1915.....T.)

○印度鐵道に於ける最長隧道

印度鐵道に於ける最長隧道は北西の國境に近き Quetta, Chaman 間にある Khejok 山脈を貫けるものにして其長さ一二、八七〇呎なり此れに次くものは Thana, Dira 間にある Parsik 山を貫く三、九〇〇呎のものにして目下掘鑿中なり、此隧道開通の曉には現在線路の此の山麓を迂回して敷設せらるゝものに比して約十一哩短縮せらるゝを常とせり

(Eng. News, Jan. 14, 1915.....T.)

○北米合衆國鐵道にて閉塞信號機を使用する哩數

レールウエー、エージ、ガ

ゼット記者の調査する所によれば一九一五年一月一日現在にて閉塞信號機を使用する區間は八八、一二八哩にして前年度に比して九四三哩の増加なり而して更に注意すべき統計は自働閉塞信號機にして前年度の使用區間の二六、一二三哩政府の報告によれば二六、五六九哩なるに對し二九六八九哩にして約三、〇〇〇哩の増加なり而して一九一三年度の増加三、八二七哩に比しては多少の減少を示すと雖も豫期せしよりは増加の率は多かりき閉塞信號機を使用する區間の増加僅少なるは手にて動かし得る閉塞信號機を用ふる所にて自働閉塞信號機に交換すること多き爲めなりと云ふ、貨客の少き線路にては閉塞信號機の設備あれども旅客列車にのみ使用せらるゝを常とせり、政府の調査に拘る哩數は單に旅客線路に限れるものにして此外に尙ほ専ら貨物線路に用ゐらるゝ自働閉塞機もあるなり

次の四鐵道線路は本年始めて此報告に表はれたるものなり

Canada Pacific R.R.

Rock Island Southern R.R.

South Dakota Central R.R.

Western Maryland R.R.

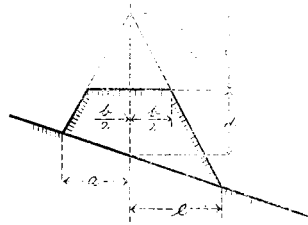
巴奈馬鐵道は現今閉塞信號機を使用して運轉せられつゝあり而して單線四〇哩及び複線七哩は自働閉塞信號機を用ひ單線七哩は手にて動かし得る閉塞信號機を使用せり  
 加奈太鐵道 六大鐵道會社の報告によれば加奈太鐵道にて閉塞信號機を用ふる區間は八、八二五哩にして内五七八哩は自働閉塞信號機を使用すると云ふ。

(The Signal Engineer Vol. 8, No. 1, 1915.....(L))

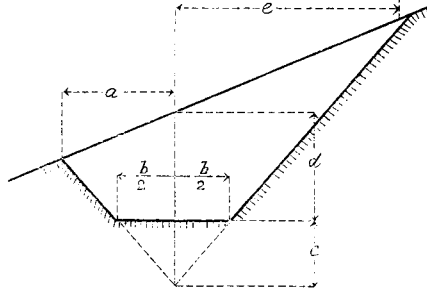
○三水平横断面の計算 (Three-Level Cross sections) 左の式を用ふる時は築堤切取共に其の横断面積を求むる事を得る便利あり

$$A = \frac{(a+e)(d+e) - bc}{2}$$

左右の法りを與ふる時は、 $c$  及  $bc$  は只りに依り異なるのみなるか故に僅かの項にて様々の場合に應用し得らる (Eng. Record, Sept. 2, 1914.....(L))



第一圖 築堤



第二圖 切取

造船

○千九百十四年中世界に於ける新造船の數  
 世界中に於ける新造船の合計噸數は二百八十五萬二千七百五十三噸にして其の内譯并に前年との

ロイド協會の報告に依れば昨年